



理事長就任のごあいさつ

新理事長 太田 敏夫

(セブン-イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー)

このたび、前理事長 山本憲司氏の後を引き継ぎ、理事長の重責をお引き受けすることになりました。就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

セブン-イレブン記念財団は、2023年11月20日に設立30周年を迎え、今まで活動内容の質を追求し続けながら基盤を固めてきた結果、この先の進むべき方向性が見えてきました。そのひとつが「セブンの森・セブンの海の森」を全都道府県にひろげ、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となり、地域の皆様と一緒に環境を守る活動を活性化させていくことです。また、日本全国の美しい自然や文化、貴重な生態系を守り、次世代に引き継ぐためにも、より多くの環境市民団体の皆様が助成金を活用できるよう支援していきたいと考えております。

微力ではありますが、これからも当財団の発展に全力をあげて取り組んでまいりますので、引き続き一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長退任のごあいさつ

前理事長 山本 憲司

(セブン-イレブン豊洲店オーナー)



このたび、2024年2月29日をもちまして、セブン-イレブン記念財団の理事長を退任し、名誉会長に就任致しました。1993年のセブン-イレブンみどりの基金設立以来、皆様には格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

就任以来の30年間に顧みますと、1990年代にさまざまな環境問題が認識されるようになり、セブン-イレブンも店舗数の増加とともにゴミ問題などへの対応が必要だと考えられるようになりました。

「環境」をテーマにした社会貢献活動を掲げ、1994年より店頭募金箱を設置し、2001年には環境市民団体への助成制度を開始、また2006年には現在の「セブンの森・セブンの海の森づくり」のもととなる、「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」が開始されました。

そしてお客様からお預かりする募金や寄付金も大きくなり、2010年に一般財団法人セブン-イレブン記念財団へ組織を改め、透明性や公平性を確立させながら、事業を継続してまいりました。災害発生時には、ボランティアの方々が初動で現場に赴けるように、「支援」を提供する連携協定を締結し、また現在は環境省との協力協定や国立公園保全活動に関する協定を締結、これから更に支援の幅をひろげていけるよう進めていきたいと考えております。

これまで支えて頂きました多くの方々に衷心よりお礼申し上げますとともに、立場は変わりますが、これからも日本の美しい自然を次世代につなげていくために地域に根ざした社会貢献活動に努めてまいります。